大津市議会
湖誠会 議会だより
Otsu City Assembly
KOSEIKAI NEWS
2010.4
vol. 3
平成22年4月4日発行
〒520-8575 滋賀県大津市御陵町3番1号　TEL.077-528-2839　FAX.077-523-2020　URL▶http://otsu-koseikai.jp

平成22年度予算が決まりました

湖誠会の政策要望が前進！

平成22年度の予算案が2月市議会定例会で可決されました。

市税収入など歳入が大幅に落ち込む厳しい財政状況ではありますが、湖誠会が政策要望で求めていた待機児童解消に向けた保育園の整備や市立幼稚園での預かり保育の全園週2回実施などの子育て支援の充実、市役所への太陽光発電やLED照明の導入をはじめとする環境施策などが実現しました。

平成22年度予算（対前年度比）

一般会計
1,010億8,900万円（7.2%）

特別会計（13会計）
725億4,740万円（3.5%）

企業会計（5会計）
639億3,205万円（△1.4%）

＋

合計
2,375億6,845万円（3.6%）

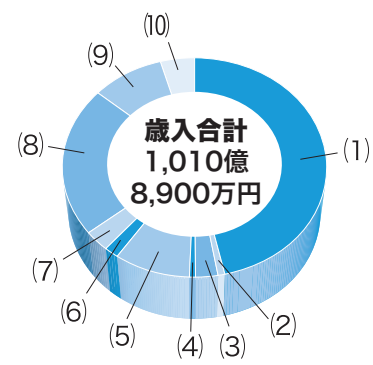
※下水道事業特別会計は、平成22年度より企業会計で予算計上。

一般会計当初予算歳出の内訳

(1)	議会費	6億170万8千円（0.6%）
(2)	総務費	95億650万5千円（9.4%）
(3)	民生費	379億3,643万4千円（37.5%）
(4)	衛生費	101億2,694万9千円（10.0%）
(5)	労働費	1億259万1千円（0.1%）
(6)	農林水産業費	8億5,113万6千円（0.9%）
(7)	商工費	10億2,122万2千円（1.0%）
(8)	土木費	141億7,496万5千円（14.0%）
(9)	消防費	29億3,139万4千円（2.9%）
(10)	教育費	106億2,400万3千円（10.5%）
(11)	災害復旧費	5,966万円（0.1%）
(12)	公債費	130億5,243万3千円（12.9%）
(13)	予備費	1億円（0.1%）

一般会計当初予算歳入の内訳

(1)	市税	470億300万円（46.5%）
(2)	地方譲与税	8億2,900万円（0.8%）
(3)	地方消費税交付金	26億3,000万円（2.6%）
(4)	地方特例交付金	6億8,040万5千円（0.7%）
(5)	地方交付税	90億4,300万円（8.9%）
(6)	分担金及び負担金	17億3,452万円（1.7%）
(7)	使用料及び手数料	30億6,329万円6千円（3.0%）
(8)	国庫・県支出金	223億7,246万4千円（22.1%）
(9)	市債	93億6,080万円（9.3%）
(10)	その他	43億7,251万5千円（4.4%）



誰もが笑顔で いきいきと暮らせるまち 大津を目指して

—平成22年度予算 主な事業内容—

（金額は1万円未満切り捨て）

安心で安全なまち

- ・小・中学校校舎耐震改修 …… 24億3,105万円
- ・幼稚園園舎耐震改修 …… 698万円
- ・既存民間建築物耐震改修促進 …… 3,300万円
- ・北消防署建設調査 …… 250万円
- ・家具転倒防止器具設置 …… 324万円
- ・市民病院消化器内視鏡センター開設 …… 5,443万円

子どもが健やかに育つまち

- ・東部つどいの広場「きらきらひろば」の開設 …… 568万円
- ・幼稚園子育て支援（預かり保育の拡充等） …… 1,043万円
- ・大津っ子みんなで育て愛全戸訪問 …… 500万円
- ・児童クラブ施設整備 …… 5,235万円
- ・家庭的保育（保育ママ） …… 3,058万円
- ・子ども医療費助成 …… 1,877万円
- ・民間保育園施設整備補助 …… 4億2,583万円

環境にやさしいまち

- ・公共施設省エネ、エコ改修 …… 1億444万円
- ・住宅用太陽光発電設置補助 …… 360万円
- ・南部クリーンセンター整備 …… 1億133万円
- ・土砂埋立て等対策 …… 230万円

活力にあふれるまち

- ・大津駅西地区土地区画整理 …… 12億3,450万円
- ・膳所駅周辺地区整備 …… 2,402万円
- ・工業、新産業振興 …… 1億6,765万円
- ・雄琴温泉観光施設整備 …… 2億210万円

平成22年度は、中核市移行2年目を迎えるとともに、新たなまちづくりの指針である「大津市総合計画第２期実行計画」のスタートの年でもあります。

さらなる発展を目指すため、中期財政計画や行政改革プランとの整合を図りながら、事業を着実に推進し、より身近な市民サービスの向上に努めていきます。

会派活動　詳しくはホームページでご覧ください。

2月1日　松山市 視察

「松山サンシャインプロジェクト」と呼ばれる太陽光発電の普及に取り組む松山市で、公共施設への太陽光発電の導入だけでなく、市民や事業者への普及啓発や新たな産業創出など地域をあげた環境施策の現状について視察しました。

2月2日　倉敷市 視察

長年にわたって官民が一体となって美観地区の町並み保全に力を注いできた倉敷市で、新たに昨年9月に策定された「倉敷市景観計画」に基づく景観を守る取り組みや現在検討されている高さ規制について視察しました。

市民一人当たりの予算額299,801円

民生費	高齢者、障害者、児童の福祉推進などに 112,508円	土木費	道路、公園、公営住宅の整備推進などに 42,039円
公債費	借りたお金の返済に 38,710円	教育費	学校の管理運営や整備などに 31,508円
衛生費	ごみ、し尿の処理や健康管理などに 30,034円	総務費	企画、自治振興、防災対策などに 28,193円
消防費	消防や救急業務などに 8,694円	その他	産業の振興などに 8,115円

※金額は一般会計の歳出額を平成22年2月末日現在の人口337,187人で割り戻した額。

公職選挙法により、議員による時候の挨拶状・寄付行為などは禁止されています。ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

湖誠会21年度を振り返って。22年度に向かって。

竹内基二（たけうち もとじ）

〒520-0836 杉浦町19-16

- 総務常任委員会委員
- 競輪事業調査特別委員会委員長

市議会議員の立場を賜り早や三年が過ぎようとしています。日々仕事に励ませて頂いており、立場を頂いた御恩に報いるべく市民の方々のお役に立つ働きをとの思いで頑張っております。

私の仕事におけるモットーは、気付いたことは身軽に直ぐ行います。まだまだ一年生議員でありますが、臆することなくより善い仕事をとの思いで、気付き即効の徹底をと心に期するものであります。

さがみ川老人憩いの家の整備について

- 膳所地域包括支援センター等の移転と合わせた整備の考え方について
- 今後の整備スケジュールについて

大津市中南部のまちづくりについて

- 膳所駅から石山駅にかけてのまちづくりについて
- 実行計画に示されていない地域別の構想について
- 商店街振興の観点からのまちづくりについて

大津草津線（近江大橋西詰）について

津田新三（つだ しんぞう）

幹事　〒520-0242 本堅田五丁目9-15

- 議会運営委員会委員
- 教育厚生常任委員会委員
- 交通対策特別委員会副委員長

市議会議員として当選させていただき、もう3年が経過しようとしています。多くの周りの皆さんに感謝し、日々議員活動に精一杯頑張っております。

本年2月議会で質問をさせていただきました。

①友好姉妹都市との交流について

友好都市である韓国の亀尾市は人口40万人、近隣の大邱広域市は238万人の都市であり、観光PRの効果は高いと思いますので、大津市の見解を伺いました。

②まちなみの景観形成について

本市に残された堅田などの、良好なまちなみ景観の保全と形成について、その手法及び展開について見解を伺いました。

また、堅田の歴史的建造物の保存修景や官民協働で進める景観形成の対象地区の拡大などについて市の見解を伺いました。

無我夢中の3年間でしたが、1日1日を大事にし、皆さんの声を市政に活かす様、尚一層、努力して参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

佐藤健司（さとう けんじ）

副幹事長　〒520-2153 一里山一丁目1-13-1305

- 議会運営委員会委員
- 教育厚生常任委員会委員
- 防災対策特別委員会委員長

子育て満足、暮らし安心のまちづくり 皆様とのお約束を着実に実現！

東部つどいの広場「きらきらひろば」開設

瀬田地域に子育て支援拠点の整備を提案。いよいよ今月13日に平和堂アル・プラザ瀬田店にオープンします。障害のある子どもを療育する東部児童デイサービス施設も来年度、整備されます。

大津市防災対策推進条例を制定

防災対策特別委員会の委員長として議員提案による条例の制定に取り組みました。この条例に基づいて、さらに災害に強いまちづくりを進めます。

大津市民病院の充実

市民病院の医療の質や患者サービスの向上を提案。消化器内視鏡センターの整備や人間ドックの受け入れ拡大、クレジット収納の導入などにつながりました。

これからも皆様の声を一つ一つ形にするべく全力でがんばります。
今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

北林肇（きたばやし はじむ）

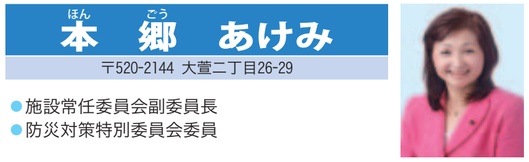
幹事長　〒520-0011 南志賀二丁目19-2

- 議会運営委員会委員長
- 総務常任委員会委員
- 地域活性化・観光振興対策特別委員会委員

ふるさと大津宣言

一、大津を尊び
二、大津を愛し
三、大津に尽くす

住んでよかった「結の湖都大津」、安心安全なまちづくりの実現に向け、一生懸命取り組みます。



本郷あけみ（ほんごう）

〒520-2144 大萱二丁目26-29

- 施設常任委員会副委員長
- 防災対策特別委員会委員

今日も元気いっぱい！

「私でよかったら…！」と地域の代弁者として市議会議員に立候補する覚悟を決め、皆さんのお力添えを賜り、議員にならせていただいてから3年。今日も元気に走り回れるのは、お支え下さる皆さまのお陰と感謝しております。ありがとうございます。今まで社会を支えてくださった先輩方も地域の宝、未来を支える「子ども」たちも、ハンディを背負った方々も、誰もがみな安心して、活き活き暮らせるまちになりますように、と考え、皆さまの声や要望をもとに、議員活動しています。そうする中でも「主婦」としての「生活」目線、子育てをしてきた「母親」としての感性は失わないように…！と心がけています。

「小さなことから、コツコツと！」
これからも皆さまの声を基に元気いっぱい！！走りまわります！

原動力は皆さまからの声です。
どうぞ、お気軽にお声がけください。

本郷あけみ

中野治郎（なかの じろう）

幹事　〒520-0113 坂本三丁目11-37

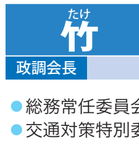
- 生活産業常任委員会副委員長
- 交通対策特別委員会委員

政策宣言

中野じろうが描く未来の大津
元気な人づくり、住みたいまちづくり

団塊の世代の議員としての約束です。
皆さんの声を大切に元気誠実に頑張ります。

福祉	きたるべき高齢化社会に対応するために元気な高齢者を応援します。 介護保険事業を見守ります。
教育	子どもは宝です。 自らの意思で行動できる子どもを育てたい。
環境	水と緑豊かな大津を残したい。地球環境に優しい、環境大津を推進します。
文化	大津らしい町づくりに取り組みます。 祭り文化を応援します。 文化遺産を生かした景観を守ります。
産業	地域の文化や環境を大切に、地場産業の振興に努めます。



竹内照夫（たけうち てるお）

政調会長　〒520-0802 馬場一丁目8-19

- 総務常任委員会委員
- 交通対策特別委員会委員

やさしい心のあるまちへ

お年寄りや体の不自由な方に優しいまちへ。ぜぜ駅のバリアフリー化を進めます。

思いやり、いたわり、やさしい心を育む教育を充実。やさしく子供を見守るまちへ。

きびしい心のあるまちへ

事故や犯罪、いじめを許さない安全安心に暮らせるまちへ。

地方分権にむけムダに厳しい行政改革。

ときめく心のあるまちへ

子供たちをはじめすべての市民が夢と希望にときめくまちへ。

生涯学習の充実で未来にときめくまちへ。

豊かな心のあるまちへ

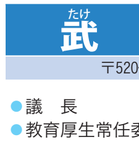
産業を活性化し豊かに発展するまちへ。

文化や歴史を活かし心豊かな未来へ。

美しい心のあるまちへ

琵琶湖の水質保全をはじめとする自然保護に努め美しいまちへ。

自然を愛し未来につけを残さないよう考え続ける地域の創造。



武田平吾（たけだ へいご）

〒520-0247 仰木二丁目23-14

- 議　長
- 教育厚生常任委員会委員

開かれた議会、分かりやすい議論、市民参加の市政の実現に努めます。

地方分権から地域主権へ

時代背景の大きな変化

- 不安定な弧のなかにある我が国の安全保障
- GDP世界第二位を明け渡すなど経済力の停滞
- 国内の少子高齢化に伴う生産人口の減少
- 食料自給率の低迷・食料安全保障上の不安

国家予算の約半分を赤字国債でまかなうような現行の予算編成は持続不可能です。早晩、消費税などの大幅アップが不可避です。

こんな大きな浪の中に私達はいるのです。舵取りを誤ってはなりません。

ますます重くなる地方議会の責任

- 高齢化時代に適応した不安のない社会
- 地域の特徴を活かした産業の振興・経済発展による雇用の創出
- 琵琶湖や古都大津を活かした個性あるまちの創造
- 夢と希望の持てる次世代教育の充実
- ふるさとに愛着と誇りを持てるまちづくり
- 持続可能な確かな財政基盤の自治体の構築

鷲見達夫（すみ たつお）

〒520-0843 北大路一丁目11-32

- 総務常任委員会委員長
- 地域活性化・観光振興対策特別委員会委員

このような時だからこそ誰もが安全・安心して暮らせる街づくりを、明日に希望が持てる社会の形成を目指してガンバッテいます。

子育て、教育を全力で応援します。

保育園、幼稚園に通う五歳児作品特別展の開催等。

安全、安心を全力で応援します。

交通安全上危険箇所の信号機の設置等、関電柱の移設等。

住みよい環境づくりを全力で応援します。

山林伐採等、河川にハシゴ式階段の設置等。

何事も全力で、迅速に取り組みますので今後とも皆様方の声をお聞かせ頂き、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

堀井三正（ほりい さんせい）

〒520-0861 石山寺四丁目22-33

- 生活産業常任委員会委員
- 地域活性化・観光振興対策特別委員会委員

『結の湖都大津』発展のため、
平成22年度も強い信念をもって議員活動に取り組みます。

◆新年度も厳しい財政状況ではありますが、福祉政策の充実、
および地域の教育力の向上が後退することのないよう予算を確保します。

◆古都にふさわしいまちづくりのために、
石山寺を中心とした瀬田川流域観光の振興と整備充実に取り組みます。

◆南部地域の交通渋滞の解消策として、都市計画道路の整備促進を図ります。

◆懸案でありました、本会議場での議論が分かりやすくなるよう、
質疑・一般質問に一問一答方式や分割質問方式が2月市議会定例会から導入しました。
お気軽に傍聴にお越しください。

北村正二（きたむら しょうじ）

〒520-0528 和邇高城270-28

- 監査委員
- 施設常任委員会委員
- 地域活性化・観光振興対策特別委員会委員

まっすぐに　ひたむきに

昨年は和邇インターのフル化によって、湖西バイパスの利用が便利になりました。また木戸市民センターのリニューアルによるフルオープンも実現しました。

地元地域の大きな課題について皆様のご支援により成果をあげることができました。

今後は「道の駅」や「近江舞子周辺整備構想」の実現のために、皆様とともにがんばります。

堀井幸男（ほりい ゆきお）

〒520-0043 中央三丁目4-16

- 副議長
- 生活産業常任委員会委員

大津のために「一生懸命」がんばります。

自分から挨拶する がんばっている 人にやさしい 奉仕の気持ちを持っている 思いやりがある 相手の立場に立つ 勉強している 物を大事にする

感謝の気持ちが心からあふれる町 そんな大津をつくりましょう。

市議会2月定例会

湖誠会からは代表質問と5名が一般質問しました。
その一部をご紹介します。

代表質問

幹事長 北林（きたばやし） 肇（はじむ）

要旨

- 平成22年度予算について
- 子育て支援対策について
- 教育について
- 保健所について
- 産業廃棄物行政について
- 景観行政について
- 市民病院の運営について
- 競輪事業について

況にあることから、次回の高松宮記念杯競輪の結果は、今後についての大きな判断の一つになるものと考えている。今後とも市議会、特に競輪事業調査特別委員会とも連携を密にしていきたい。

Q 現行の行政改革プランの成果と、平成22年度からの(新)行政改革プランの改革目標への取り組み姿勢は

A 現行プランは、事務の効率化や総人件費の抑制、新たな財源の確保などに取り組み、職員の意識改革や健全財政の堅持に大きな成果を挙げてきた。

新行政改革プランは、これまでの経営型、減量型の改革に加え、サービスの質の向上に向けた改革からのアプローチを行い、地方分権時代にふさわしい持続可能な都市経営による質の高いサービスの実現を目指すものであり、市長の強いリーダーシップのもと、全職員が一丸となって全力で取り組んでいく。

Q 大津市競輪事業収支改善計画に基づき車券売り上げの振興などの諸施策に取り組んでいるが、年々売上額が落ち込み赤字の増加が懸念される状況の中、今後の競輪事業のあり方は

A 全国の公営競技を取り巻く社会経済環境は大変厳しい情勢にあり、本市競輪事業においては高松宮記念杯競輪が大きなウェートを占める状況にあることから、次回の高松宮記念杯競輪の結果は、今後についての大きな判断の一つになるものと考えている。今後とも市議会、特に競輪事業調査特別委員会とも連携を密にしていきたい。

Q 子育て支援施策を総合的に進めるための大津市次世代育成支援後期行動計画の策定状況と、重点施策の取り組みは

A 同後期計画は、前期計画の基本理念を継承しつつ成果や課題を踏まえ、策定作業を進めてきたもので、今後、本市社会福祉審議会児童福祉専門分科会の審議を経て3月末に完成する。

重点事項としては、関係機関の連携体制を構築し、地域で子育てを支援する取り組みの推進や、待機児童解消に向けて計画的な保育所整備による定員増を図るとともに、多様な保育サービスを提供していく。

Q 市内の公立幼稚園の中には、園児数の減少による小規模園化が進み集団教育が難しい園があるが、小規模園の統合や就園率の低下などの課題に対する、今後の幼稚園教育の対応は

A 幼稚園では一定の集団規模が大切であることから、一部の幼稚園に見られる小規模園化は、本市の幼稚園教育の課題であると認識しており、平成22年度から、幼稚園の統合・再編なども含め、就学前教育のあり方について調査・研究を行い、検討組織を設置して議論を深め、今後の本市の幼稚園教育について考えていく。

一般質問

竹内 照夫議員

Q 市内最多人口を抱えることから利用者も多く、老朽化している平野市民センターを膳所駅周辺の活性化という観点からも、旧国鉄精算事業団地での建て替えを

A 平野市民センターは、馬場財産区管理会から多額のご寄附を得て建設したが、築後31年が経過しており、施設が老朽化していること、また平野学区は人口規模が大きく、建物や駐車場が狭隘であることなど十分認識しており、膳所駅周辺整備事業との整合性を図りながら、財政的な面も踏まえて、改築計画を検討していく。

また、改築場所については、現在の市民センター敷地が狭いことから一定の面積と適当な形状を有する用地を確保する必要があり、学区からも要望をいただいている旧国鉄精算事業団用地を学区内で最も適切な用地であると考えている。

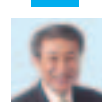
佐藤 健司議員

Q 瀬田丘陵生産遺跡群の一つである山ノ神遺跡の整備については地域住民が歴史を学び、交流する場として整備することが大切であるが、整備計画は

A 山ノ神遺跡の特徴の理解に重点を置くとともに、遺跡での土器作りや火おこしなどを通じ、親子で楽しく歴史を体験できる場や、地域住民の憩いの場となるような整備を考えており、今年度から用地の公有化に着手し、公有化が完了次第、地域住民と協議しながら設計・整備を進めていく。

また、この史跡は地域の財産であり、地域住民の参加を得て、保存、整備、活用の検討が必要と考えている。

中野 治郎議員



Q 市で取り組むべき太陽光発電施設について、発電量、CO_2削減などの表示および省エネ効果目標の達成率を公表するために電子表示盤の設置を

A 太陽光発電システム設置状況や発電状況を把握、整理し、広報することは市の施設のエネルギー管理の視点だけでなく、市民の太陽光発電システムの導入や省エネルギー機器等の利用を促進することからも重要である。現在、工事中または計画中の保育園や市民センター等については、それぞれの設置場所において現在の発電量などを示す表示盤の設置を積極的に進めていく。

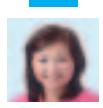
津田 新三議員

Q 堅田の歴史的な建造物の保存修景も含め、官民協働で進める景観形成についての取り組みは

A 景観保全は地域住民の景観に対する深い認識がなければ成し得ないもので、優れた景観資源を多く有する堅田では、周辺地域も同様の取り組みが広がることを期待している。

今後も、住民主体で行われる勉強会や現地調査活動などを支援するため、ノウハウの提供や専門家の派遣を行うなど、地域活動に対する支援に積極的に取り組みたい。

本郷あけみ議員



Q 大津のまちの美化のためにモラルやマナーを向上させることが重要であることから、まちを美しくする条例制定など、全庁的な取り組みを

A 大津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例により、道路、公園などの管理者が所管する場所の美化に努め、利用者に対してごみのポイ捨てを行わないよう啓発などを行っている。引き続き、それぞれが全庁的な取り組みを一層進めることとするが、将来的には、啓発を図る上で、条例制定も大きな意味を持つと考えている。

議会活性化について

議会活性化の一環として、2月定例会から議員の質疑・一般質問について質問方式が選択できるようになりました。一問一答方式や分割質問方式が新たに導入され、湖誠会をはじめ多くの議員がこれらの方式で質問しました。試行期間ということもあり議員、執行部とも慣れない場面も見られましたが、「一問一答のやりとりで議論が深まった」「傍聴者にもわかりやすくなった」と概ね好評でした。